

おおさきかみじま

議会だより

第92号 令和8年5月1日発行



花見風景（中野八幡神社）

令和8年度予算	2～3
わが町の予算主なやりとり ...	4～5
決まった主なこと	6

9議員が一般質問	7～16
委員会報告・視察報告	17～19
追跡・編集後記	20

予算を可決

今年度の町債(借金)

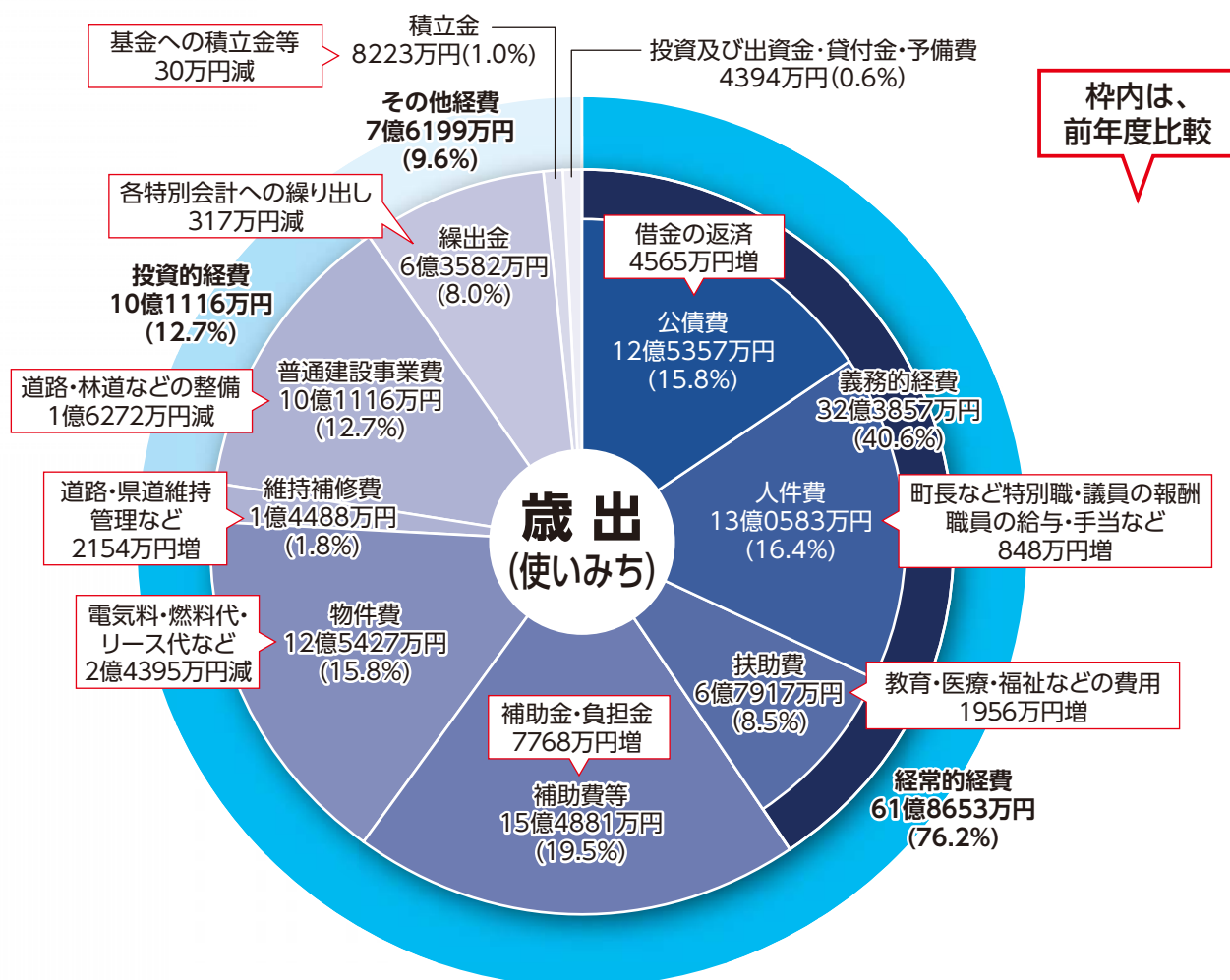
10億9190万円

会計別予算総括表

会計名	予算額	前年度比%	
一般会計	79億5968万円	△2.9%	
特別会計	国民健康保険事業	13億5347万円	55.2%
	介護保険事業	14億4833万円	△3.2%
	後期高齢者医療保険事業	2億3379万円	11.9%
	港湾管理	2470万円	△2.3%
	漁港管理	580万円	0.5%
	交通事業	9282万円	△9.9%
	干拓地管理	681万円	27.0%
	合計	31億6572万円	16.5%
下水道事業会計	5億8391万円	7.4%	
合計	117億931万円	2.2%	

令和8年第1回大崎上島町議会定例会は、3月10日から3月25日まで開かれました。

町長の施政方針の表明があり、条例改正を含む議案等、3月補正予算、新年度一般会計予算及び特別会計予算・下水道事業会計予算を審議しました。



令和 8 年度

予算総額(一般会計 + 特別会計 + 下水道事業会計)

117億 931万円

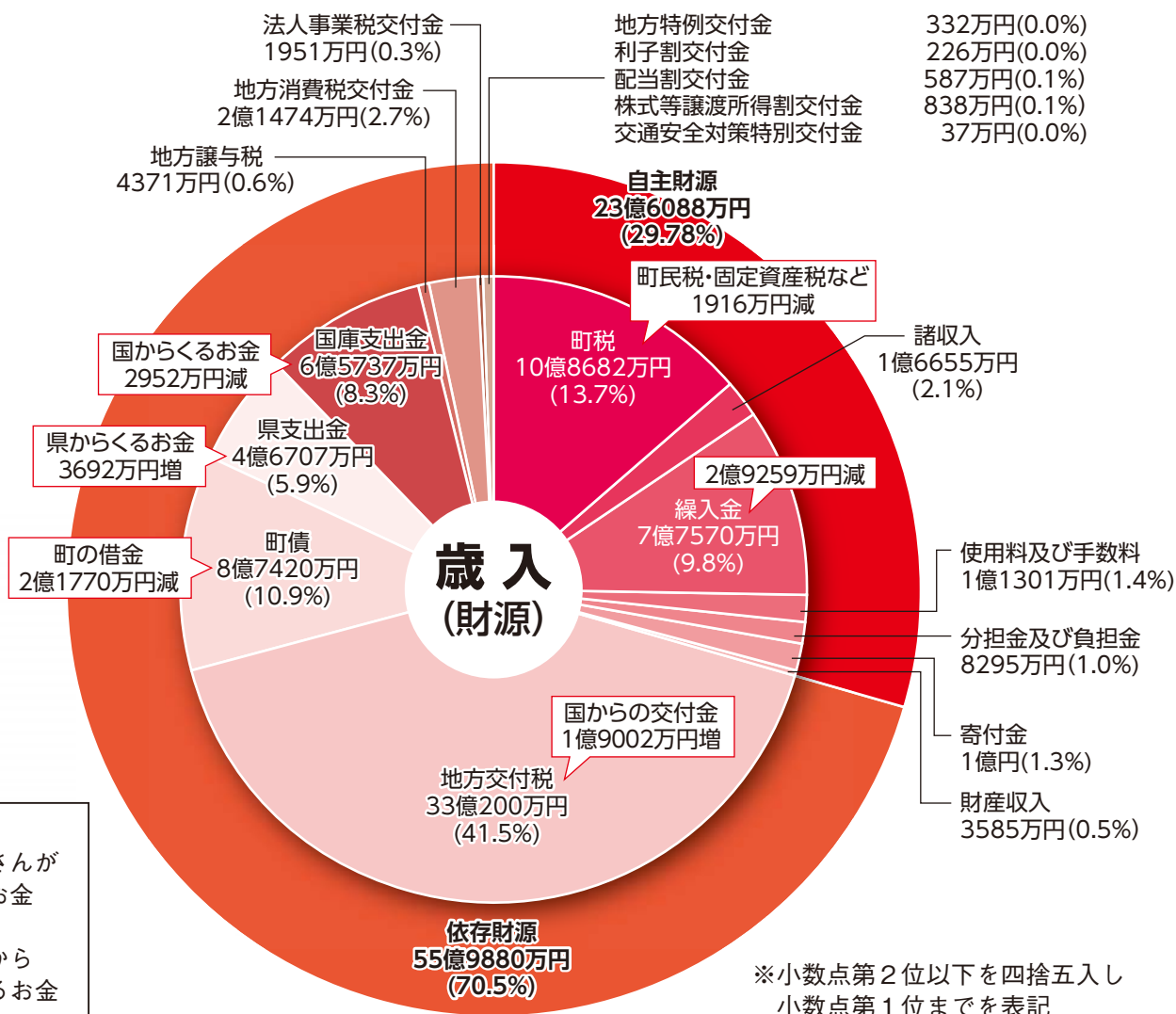
令和 8 年度一般会計予算
79億5968万円

対前年度比
2.9%
減額

[町長施政方針より抜粋]

予算編成については、歳入の範囲内で収支均衡を図り、できる限り歳出超過の状態を抑制し、国の地方創生に係る交付金や基金、県の助成金等の動向を注視しつつ、歳出構造の均衡に向け、適切な財政運営を進めていきます。

1. 財源創出を図り、地域要望や住民ニーズに対応します。
2. 島の資源を最大限に活かすため、積極的な協議や事業提案を行います。
3. 関係人口・交流人口の創出に取り組めます。
4. 長期総合計画に掲げる施策を着実に実行します。



主なやりと

令和8年3月25日、本会議において予算審議を行いました。

森議員…紙やパソコンにある資料をデータ化し職員がAIで質問できるAI活用の業務基盤構築事業はいつまでに実施するのか。
企画課長…早めにサービスが提供できるようにします。

森議員…Starlink（スターリンク）の説明、購入台数と予算、訓練をすべきでは。
総務課長…災害による通信遮断時に衛星経由でインターネットに接続します。3台で費用は234万円です。
全職員が操作できるように体制を作ります。

進藤議員…教育振興費で学校の設備の改善をしないのか。
学校教育課長…本町の教育振興は他市町と比べても、充実しているので、大規模な改修等は学校費ではなく、

文教施設で修繕等の予算を組みます。

水橋議員…自主財源確保は地元の企業、大手企業等の売上を上げるしかない。国や県とも連携しながら進めてほしい。

町長…雇用を促進して税収が入ってくる。ふるさと納税を積極的に対応します。

信谷議員…商工観光施設整備費1億1,400万は何に使うのか。

地域経営課長…野賀海水浴場第2期工事です。

渡辺議員…ふるさと納税推進事業は。
総務課長…PR用のパンフレットを作成します。

渡辺議員…常備消防費45%減の原因は。
総務課長…繰り越したため45%の減になりました。

浜田議員…県道維持管理業務の288万7,000円の内容と実施時期は。

建設課長…県道の道路維持と白線工事です。例年通り前期後期に分けて維持管理していきます。

赤松議員…財政調整基金は昨年度が7億で今年が6億を支出。基金対策は。
総務課長…事業見直しと、財源を確保する政策を考えます。

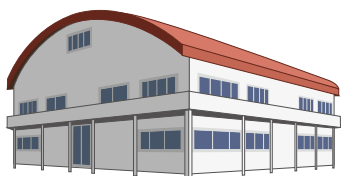
赤松議員…財政調整基金の運用は有利な銀行もあるの
で検討は。
副町長…基金は債券等で有利なものを活用しています。銀行等は検討します。

赤松議員…安全衛生法に則り、草刈り等の講習はすべての人にすべきでは。
総務課長…検討します。

赤松議員…大崎支所と木江支所等の駐車場の白線が消えている。実施までスプレーをすべきでは。
総務課長…大崎の白線は令和8年度予定。計画的に実施します。

赤松議員…情報プラザエルの本購入費を170万円に減額しているのは。
生涯学習課長…予算的に厳しいので減額にはなっていますが、リクエスト等の購入費用は計上しています。

赤松議員…中学校の屋根の雨漏り補修は新しく屋根の掛け直しを。
大崎小学校体育館の屋根を補修したが、現在は北側の漏れがある。
学校教育課長…中学校の防水対策はきっちりとしたものを施工します。
小学校の体育館は何度も対策をしたが改善できない。改善に努めます。
教育長…防水対策をしていなかったのが原因です。



わが町の予算

令和8年3月10日、11日、
全員協議会において各課から
予算の説明を受け、質疑
を行いました。

○学校教育課

Q・学校でのAEDの使用
方法についての講習は。使
用期限はあるのか。

○住民課
Q・プレミアム商品券につ
いて、安芸西野簡易郵便局
では取り扱いが出来ないの
か。

A・消防署に講習会を依頼
する。本体の使用期限が7
年で、パッドの使用期限が
2年のため、購入せざる
スを使用している。

A・簡易郵便局は局長など
の責任者がいないため取り
扱い出来ない。

○健康福祉課

Q・介護と医療が一体的に
提供できる介護サービス事
業所の看護小規模多機能型
居宅介護（かんたき）を利用
するときは、どのケア
マネージャーが担当するの
か。

○地域経営課
Q・直売所事業化可能性の
調査費とは、どこにどのよ
うな内容で予算を使うか、
具体的な説明を求めます。

A・直売所事業の必要性や
実現可能性、設置場所、運
営方法等について、総合的
な調査をするため、300
万円の予算を計上している。

A・制度上、かんたきの施
設ケアマネが専属で担当す
るため、他のデイサービス、
短期入所、ヘルパーなどの
通所サービスは利用出来な
い。

○建設課

Q・行政代執行について委
員会にかけるときの要件は。

A・建物については各区か
ら要望書が出てきて、その
中から協議会にかけ、県
道・町道に近い、他の家屋
に危険が及ぶ、人の出入り
が多い等、本当に危険なと
ころに限り行う。

○総務課

Q・物価高騰対策は。

A・物価高騰対応重点支援
地方創成臨時交付金として
国から1億5千万円が交付
され、町ではプレミアム付
き商品券発行事業等を行う。

○生涯学習課

Q・大崎文化センター照明
設備改修事業の設計費は。

A・事業費は3千6百万円
となる。

2次元コードを読み取ることで
町議会の定例会・臨時会録画放送
を見ることができます



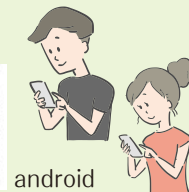
スマホやタブレットに無料アプリ「マチイロ」をインストールする
ことで、いつでもどこでも議会だよりを読むことができます。ぜひ、
ご利用ください。（※議会だよりは定例会後の発行のため年4回です。）



iOS



android



決まった主なこと

第1回定例会(3月議会)

大崎上島町議会は、令和8年第1回定例会を令和8年3月10日火曜日から16日間の会期で開会した。

施政方針に始まり9名の一般質問、34件の議案を審議し、すべて可決で閉会した。

- ・大崎上島町議会議員及び大崎上島町長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部を改正する条例について
- ・大崎上島町職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例について
- ・大崎上島町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について
- ・大崎上島町職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例について
- ・大崎上島町国民健康保険税条例の一部を改正する条例について
- ・児童福祉法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例について
- ・大崎上島町手数料条例の一部を改正する条例について
- ・大崎上島町営住宅条例の一部を改正する条例について
- ・大崎上島町乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例について
- ・大崎上島町特定乳児等通園支援事業の運営に関する基準を定める条例について
- ・大崎上島町過疎地域持続的発展計画の策定について
- ・公の施設の指定管理者の指定について（木越会館）
- ・公の施設の指定管理者の指定について（大峰苑）
- ・公の施設の指定管理者の指定について（大串海水浴場およびシーカヤック艇庫）
- ・財産の取得について（町営フェリーさざなみ）
- ・財産の取得の変更について（町立学校学習用端末購入）
- ・工事請負契約の締結について（防災備蓄倉庫新築工事）
- ・令和7年度大崎上島町一般会計補正予算（第7号）
- ・令和7年度大崎上島町特別会計補正予算 6件
- ・令和7年度大崎上島町下水道事業会計補正予算（第5号）
- ・令和8年度大崎上島町一般会計予算
- ・令和8年度大崎上島町特別会計予算 7件
- ・令和8年度大崎上島町下水道事業会計予算

第1回臨時会(令和8年2月6日)

大崎上島町議会は、令和8年第1回臨時会を令和8年2月6日金曜日1日間の会期で開会した。

承認1件、議案3件を審議し、すべて可決で閉会した。

- ・専決処分した事件の承認を求めることについて（衆議院選挙費等）
- ・工事請負契約の変更について（期間延長）
- ・令和7年度大崎上島町一般会計補正予算（第6号）
- ・令和7年度大崎上島町交通事業特別会計補正予算（第3号）

令和8年第1回定例会一般質問通告一覧表

議員名	質問事項
(1) 水橋 直行	施政方針について
(2) 赤松 良雄	谷川町長が選挙で公約、所信表明で表したことの結果はどうか
	集会所維持管理について
	谷川町長プロフィールについて
(3) 渡辺 年範	ふれあいの館について
	小学校規模適正化検討委員会の進捗状況について
(4) 末光 透	「ふるさと納税」の実績と取り組みについて
	「外出支援サービス」について
(5) 進藤 雅通	島内、島外への移動問題について
(6) 下末 典和	町民の安全について
	体験型修学旅行について
(7) 浜田 幸造	県道の整備を
	歩道橋の安全点検と維持管理を
(8) 信谷 俊樹	施政方針について
	農山漁村振興交付金について
	スマートアイランド実証実験調査について
(9) 森 ルイ	ふるさと納税について
	大崎上島町第3次総合戦略について
	行政情報の公開について

一般質問

町政を問う

9人の議員が19項目を質問



みずはし なおゆき
水橋 直行 議員

質問（水橋議員）

施政方針の冒頭で職員をこき下ろす発言を公で言うのはとても許せる内容ではないと感じた、今後改めるべきとの苦言を申す。

- ①前町長のもと予定していた大串海水浴場改修は交流人口を増やすためとのことにもかかわらず、なぜ3年も塩漬けにしたのか。
- ②柿の浦団地の建て替えは前町長のもと事業を進めていたにもかかわらず、途中で事業を止め
- ・住民の安全無視
- ・戸数が減少（24↓16）
- ・利便性低下（EVなし）
- ・事業費は増加傾向
- ・3年遅れたのはなぜか
- ③官民連携の「新しい公」を作るために協議会を作りその後法人化（第三セク

問

決めたことはスピード感を持って

答

今後は状況を
見ながら進める

ター的なもの」と説明しているが、協議会を利用し「民間で決まった」と見せかけるのではないかと。柿の浦団地問題でも同じ構図だった。

- ④長島の発電所が2年後に撤退する可能性の噂もある。税金や雇用または住民の大幅減の恐れがあるが、町からCO₂活用（アマモ再生等）積極的に提案し存続についての話をすべきではないか。
- ⑤直売所事業化に係る可能性調査業務について町長就任時に言った内容と受け止めているが、大変必要なことで、町民の方、コミュニティ等々要望されていると思うがスピード感をもって対応していただきたい。

- ⑥地域カード（グリーンカード）を作ると町長は言っていたが、現在地域と

の対話で出来ないと言っているとの噂があるが本当か。費用を抑えた方法で地域カードを作る考えはないのか。

意味ではない。

答弁（町長）

- ④中国電力株式会社との良好な関係を維持するために、駅伝大会、卓球教室など町民とのイベント交流をし、役員クラスとは定期的な意見交換の場も設けて、両者の信頼関係をより高めている。

- ①一部について地域住民の理解が得られていないため、物価高騰の影響により事業費が増加する可能性があるが、できる限り効率的かつ効果的な事業執行に努める。

答弁（地域経営課長）

- ②企業体として建設予定だったが不調となり、根本的な見直しが必要であることから、令和6年度に協議会を立ち上げ見直しを行った結果、令和8年度から建設する。入居者の方々に不便で不安な生活をしいていることは、誠に申し訳なく思っている。
- ⑤特色を生かした大崎上島らしい交流拠点について、町の魅力を最大限に引き出すものと考えている。何が最も適切か財政面も含めて総合的に検討し、町民や事業者の意見も伺いながら、大崎上島らしさをどのよう

答弁（企画課長）

- ③令和8年度中に協議会を組む方針。
- ⑥他自治体の事例等を注視しつつ、住民のニーズを慎重に見極めながら調査検討を進める。

答弁（町長）

- ③事業を載せているのは今まで出た例を載せているだけで別にそれをやるという
- ⑥言った覚えは無い。



あかまつ よしお 赤松 良雄 議員

問
選挙公約は
どうなった

答
住民対話と
情報公開した

の意見が多くあった。

「トップセールスの具現化が見られない」「町長に頼んだことをやってくれない」などの声が多く出てい

質問（赤松議員）
町長は町長選挙の立候補の際に、子供は島の宝、家庭に希望をなど選挙公約に5つの誓いを立てました。

選挙時の約束はできていない。

選挙で住民と約束して出来ているもの、出来ないもの、その原因は何か。

答弁（町長）

県道は県との調整が必要。進行管理を含めお詫びする。

質問（赤松議員）

答弁（町長）
住民対話と情報公開の徹底、小中学校給食の無償化、デマンドバス運行、消防防災設備機材等の整備に取り組んだ。

片浜・大西・向山の三地区の区長が2年前に出した要望書の内容を覚えているか。

答弁（町長）

覚えていない。

質問（赤松議員）

一昨年行った車座談議、「なぜ区の役員だけと対話するのか」と

7年前の大雨で中学校の

校庭まで浸水した。既存のポンプ37㎡をなぜ大きくしなかったのか。大型自動車を利用した26㎡のポンプ設置と、お宮入り口の樋門整備を三区長が訴えた。

答弁（町長）
私の指示が悪かった。

質問（赤松議員）

向山で貯水槽等を整備したが40mmの雨で耐えられるか。

答弁（建設課長）

耐えられないかもしれない。

問
集会所の維持は

答
区長等と協議

質問（赤松議員）

町内に36の区があり、大部分の集会所は町が指定した区が管理。町内で50世帯以下の集落は11地区で今後50世帯以下の地区が増えると予測される。区の維持管理を議論すべき。

例えば畳の改修費用は区と町が折半と負担等取り決



めがある。これらは本来町が提供すべき。世帯が少ない地区のことを検討したのか。

集会所の太陽光設置時に一緒に更新すると課長は言っていたが、すべての区がそうになっているのか。

答弁（総務課長）

太陽光設置時にLED化している。

質問（赤松議員）

大西区や原下区では玄関等がLED化してない。調査をすべき。掃除しにくいLEDがあるので今後は区長と相談して設置を。

答弁（総務課長）
区の在り方を含め区長会と協議する。

問
履歴掲載ミスは

答
申し訳ない

質問（赤松議員）

株式会社Bee-Hive「はちみつ」は大崎上島町にあるヘルパーや訪問看護を行う介護事業所で、町のホームページには谷川町長プロフィール23年4月27日には、令和元年8月から「はちみつ」の大崎担当執行役員と掲載していた。住民から指摘され削除したが、自分のホームページは削除していない。

答弁（町長）

私のチェック漏れ。誠に申し訳ない。直ちに自分のホームページも削除する。



わたなべ としのり 議員
渡辺 年範

問 小学校規模適正化検討委員会の開催は

答 決まっていない

費用は2千万円、収入は5百万円、利用者数は令和6年度は約1万8千人、改修費は令和7年度までに2千万円かかっている。

質問 (渡辺議員)

赤字であり老朽化しているがいつまで続けるのか。

町民の娯楽施設として必要なら、大串キャンプ場の改修に含めて海岸近くへ移転しては。海水浴客、キャンプ客、グランドゴルフの帰りなど利用客が増えるのでは。

問

ふれあいの館の
存続は

答

3つの選択肢がある

答弁 (総務課長)

指定避難所であるので現地で建て替え、別の場所へ観光施設として新設、老朽化により解体という選択肢を検討している。

答弁 (町長)

観光というのは貴重な意見として承る。どうするかの決断は私がする。

答弁 (町長)
子供たちの未来を軽々しく判断できない。それを選択目的にすべきではない。

全ての小学校が複式学級になっても良い、それが島の子供にとって良い教育環境であると考えているのか。

バーも変わるし審議の対象となる生徒も変わる。1年生がいつまでも1年生でいるわけではない。学年単位は1年間であり1年間で答申をもらうべきでは。

答弁 (町長)

検討委員会が判断したことの報告を受けながら判断する。

答弁 (教育長)

何年もかけるほど悠長なことは考えてない。

質問 (渡辺議員)

自分の教育方針の丸投げに聞こえる。

質問 (渡辺議員)

町に小学校が1校でよいか3校でよいかは教育行政、即ち町の問題である。しかし、「子供は島の宝」をスローガンにしている町長として、島の未来を担う子供たちをどのように育み、その教育環境はどうあるべきかを考えるのは町長の教育政策であり教育方針である。

質問 (渡辺議員)

大串地区にある温泉施設ふれあいの館は、いつ開設されたのか又年間の管理費、収入、利用者数、及び近年の改修費はいくらかかっているのか。

答弁 (住民課長)

築33年になる。年間管理

答弁 (学校教育課長)

総合教育会議の開催や議会日程、他のスケジュールの調整などにより年度内開催は不可能であり、今準備中である。開催回数は定めていない。諮問に対する答申期限も設けていない。

質問 (渡辺議員)

検討委員会はメン



すえみつ とおる 議員
末光 透

問

「ふるさと納税」の実績と
取り組みについて

答

返礼品の充実、利用拡大に向けて取り組む

フレット配布など対応して
はどうか。

答弁 (総務課長)

- 「ふるさと納税」による税収は令和6年度に6千900万円であった。大崎上島町を寄付先として選んでもらうため、返礼品の充実や広報戦略など今後考えていく必要がある。
- ①令和7年度の進捗は。
 - ②返礼品はどのように選定しているか。
 - ③税収は何に使われているか。
 - ④全体業務を取り行う中間事業者の変更、ポータルサイトの拡大は検討しているか。
 - ⑤今後の成長戦略と次年度の目標金額は。
 - ⑥専用窓口設置、インターネットの特設サイト開設、紙媒体のパン

類のほか、加工品、宿泊体験型などの返礼品の充実を図り、企業への広報にも力を入れる。令和8年度の目標金額は1億円。

⑥パンフレットを作成予定。観光施設やイベントで配布して町の魅力を発信したい。

(末光議員)

前回の一般質問でふるさと納税の重要性を訴え、パンフレット作成が採用された。今後、町の発展のため積極的な取り組みに期待する。



問

「外出支援サービス」
について

答

改善を検討していく

質問 (末光議員)

高齢者や障がいのある方を医療機関へ送迎する「外出支援サービス」の利用は様々な条件があり、ボランティアの運用で支えられている。今後、サービスの充実やボランティア養成を検討していくなど現状と課題を把握し検討する必要がある。

- ①年間利用者数は。
- ②ボランティアの登録人数は。利用希望者に十分対応できているか。
- ③ボランティア報酬の規定は。満足度の確認は。
- ④サービスの適用条件について。通院送迎は可能だが、入退院の送迎は利用できない。また、家族の送迎が困難な場合に限るため、家族は通院で仕事を何度も休まなければならないなど負担も大きい。条件の見直しが必要では。

⑤外出支援サービスが利用できない場合、社会福祉協議会の介護車両を借りることができるとは、リクライニング式車椅子が乗らないなど課題がある。今後、車両の購入の際には検討が必要では。

答弁 (健康福祉課長)

- ①令和6年度の利用登録者数は160人、延べ利用者数は999人、町内外で2547回。
 - ②ボランティア登録者数は52名に減少。利用申込が増え、全て受けられない状況。
 - ③報酬額は8年度に1時間500円から800円に増額する。年1回研修を行い改善点を検討している。
 - ④急性期の送迎はボランティアの負担が大きくなるため対象でない。
- 家族による送迎が難しい場合の要望が多く、担当ケアマネージャーなどの判断により柔軟に対応できるように改正した。
- ⑤今後更新時、社会福祉協議会等と相談する。



進藤 雅通 議員

問 島内・島外への移動問題について

答 移動困難者の解消に努めていく。
町民生活を支える公共交通の維持運営に取り組んでいく。

質問（進藤議員）

本町では人口減少及び少子高齢化に伴い、移動困難者が増えていくと思う。通院は外出支援サービスが使えるが、通院のみで買い物での外出支援サービスは使えない。高齢化が進んで行く中、移動困難者への柔軟な対応が何かできないか。

答弁（健康福祉課長）

本町では外出支援サービス事業で利用者の自宅と医療機関等への送迎を行っており、制度上は買い物等に立ち寄ることはできないこととなっている。今後移動困難者は増えることが見込まれる。公

公共交通機関あるいは民間の介護タクシーの利用促進や、

町内の障がい者事業所が行う身体障がい者への移動支援、視覚障がい者に対する同行援護、知的・精神障がい者に対する行動援護などの活用を促す。新たな移動支援のことも検討を重ね、移動困難者の解消に努めていく。

質問（進藤議員）

本土へ渡る手段としてのフェリー航路は、日常生活に欠かすことのできない交通手段。しかし、人口が減少していく上で大崎上島町として今後のフェリー航路維持運営をどのように考えているか。

答弁（企画課長）

本土と本町を結ぶフェリー航路は、日常生活を支える上で欠かすことのできない重要な交通手段で、町内の移動に伴うバス路線についてもフェリー航路と一体となって町民の移動を支える役割を果たしている。

一方で、人口減少の進行に伴いフェリーやバスの利用者数が減少傾向になることは事実であり、公共交通の維持運営を取り巻く環境は年々厳しさを増している。こうした交通の利便性低下が定住や移住の妨げとなり、人口減少を助長する要因の一つで、町として重要な課題であると受け止めている。本町では大崎上島町域公共交通計画において、フェリー・バスは町民の生活を

支える生活交通として明確に位置づけ、将来に渡り持続可能な公共交通の確保を基本方針とし、人口動態や利用状況の変化を注視しながら、町民生活を支える公共交通の維持運営に取り組んでいく。



議会傍聴を試してみませんか。

次回の定例会は**6月**です

日程は町内放送・ホームページでお知らせします。

お知らせ

○本庁・各支所ロビーのテレビまたはインターネットで議会生中継がご覧いただけます。

※インターネットをご利用の場合はホームページの注目記事「○○議会ただいま生放送中」をクリックしていただければご覧いただけます。



しもすえ のりかず
下末 典和 議員

問 体験型修学旅行について

答 本町の魅力発信や関係人口の創出といった間接的な効果

より登録家庭数の拡大に努

めている。今後も受入れに

対する不安軽減のための

フォロー体制の充実にも努

めながら、新たな担い手の

確保に向けていく。

体験型修学旅行による経

済効果は、民泊体験や家業

体験による食材費などの直

接的な消費に加え、地域内

でのお土産購入や交通利用

など、幅広い分野にわたる

経済波及効果があり、地域

住民と生徒との交流を通じ

て、本町の魅力発信や関係

人口の創出といった間接的

な効果も大きい。

経済効果にとどまらない

特長的な地域活性化に寄与

する重要な取組であると考

える。

今後とも、受入れ体制の

充実と質の向上を図りなが

ら、体験型修学旅行のさら

なる推進に努めていく。

質問（下末議員）

沖縄県で修学旅行中の水

難事故があつたが、この様

な事故が起こらないように

何か対策を考えているか。

答弁（地域経営課長）

安全対策については、受

入れ家庭やインストラク

ターに対して研修を実施し

て、安全管理や緊急時の対

応について周知徹底を図っ

ているところ。また海を活

用したプログラムについて

も天候状況等を十分に確認

した上で実施の可否を判断

している。ライフジャケット

の着用など基本的な安全

対策を徹底し、万が一の事

態に備えて連絡体制の整備

を

や、保険への加入を行うな
ど受入れ体制の強化に努め
ている。生徒の安全安心を
最優先に受入れ体制の充実
に努めていく。

質問（下末議員）

体験型修学旅行に対して

町としてPRは考えている

か。

答弁（地域経営課長）

事業のPRについて、年

に3、4回プロモーション

活動を行っており、関東や

関西、中部地区の旅行会社

に向けて誘客のプロモー

ション活動を行っている。

小原川の下流の町民の安
全は大丈夫か。

答弁（建設課長）

小原砂防堰堤においては、

地域の安全を守る重要な役

割を果たしており、県が5

年に1度定期検査を実施し

ており、当該施設に劣化、

剥離を確認しているが、直

ちに何らかの影響を及ぼす

ものではなく、経過観察す

る。

質問（下末議員）

今の状態で5年に1度の

点検で大丈夫か。2年か3

年に1度へ変更できないの

か。

答弁（建設課長）

全国的に砂防堰堤、道路、

橋梁等も全て5年に1度の

定期検査を行うようにと

なっているが、令和3年度

に県が定期検査を行い、令

和8年度に検査を行う予定

を

問

砂防ダムの点検は

県が5年に1度の定期
検査を実施している

答

質問（下末議員）

東野地区の白水区と小原

区の堺にある砂防ダムに大

きな亀裂が入っているが、

あの状態でもし豪雨などが

起こった時、砂防ダムは大

丈夫か。



はま だ こうぞう
浜田 幸造 議員

問
県道の整備を

答 関係機関と協議しながら、続けて要望していく

の区間・「木江岩白から東野垂水」までの区間・「古江区」の区間は。

質問（浜田議員）
道路は、日々の通勤や通学、地震など災害時の避難経路として欠かせないインフラで、人々の移動を支える非常に重要な役割を担っている。

県道は計画的に整備しているが、狭隘で大型車両等の離合等が難しい、道路交通上非常に危険な区域がある。次の3路線について、今後の整備計画は。

①大崎上島循環線の整備は、「矢弓地区」が令和7年度から工事着手し、「明石地区」は平成15年度から用地買収に着手、未だに工事着手してない。「木江信号機から天満栈橋」

「大崎バスから大田三叉路」の区間の整備は。

③大西大西港整備計画は、大崎上島町が通学路に指定していないことから、広島県は道路整備計画に挙げられないと聞いていたが、現状の整備計画は。

答弁（建設課長）
①県道大崎上島循環線の「明石地区」の道路整備計画は、用地買収に着手し、地籍調査の完了を待っている。次に「木江信号機

から天満栈橋」までの区間は、路線が決定しておらず計画が進んでいないが、関係機関と協議しながら続けて要望していく。「木江岩白から東野垂水」までの区間、道路交通上非常に危険な区域については引き続き要望する。「東野古江」地区は、令和8年度も引き続き用地交渉を行い、道路拡幅に努めていく。

②県道大田木江線の整備計画は、木江隧道から木江信号機までの区間は、令和8年度は用地調査を行い、用地交渉する計画で事業を進めている。

「大崎バスから大田三叉路」は、歩道も無い上、路肩も軟弱で非常に危険なので、県と協議しながら進める。

③大西大西港線は大西港から中野方面を連絡する幹線道路で重要であり、以前から県に要望している。一日

の車両及び歩行者の交通量が少ないので、歩道の設置は無理。側溝を改修し蓋を付け、路肩はカラー舗装など歩行者の安全を確保するよう県に強く要望する。



問
歩道橋の安全点検と維持管理を

答 維持管理については、点検業務の結果を踏まえて行う

質問（浜田議員）
平成3年度に園児と児童が安全な交流を図るために、木江町は県道大崎上島循環線に歩道橋を建設した。歩道橋は鉄骨造りで、三十年経過し、平成13年にM6.7の芸予地震に遭った。今までに安全点検など行なっ

ていないと思うが、今後の安全点検と維持管理は。

答弁（学校教育課長）

歩道橋を含む道路の老朽化対策に関する国の取組は、平成24年に中央自動車道で発生した笹子トンネル天井板落下事故で道路法などが改正され、平成26年トンネルや橋などの道路構造物など、5年に一回知識・技能を持つ者が近接目視で点検するなど義務化されて省令・告示が施工された。

本町も、その省令・告示に基づき建設課が橋梁の点検業務を委託し点検。来年度、令和8年度に実施予定。維持管理は、点検診断結果を踏まえ、関係部局と協議し維持修繕に努める。





議員 信谷 俊樹 (のぶたに としき)

問 町長の施政方針について

答 情報共有の徹底や公聴会の検討など、各施策を着実に進めたい。

質問 (信谷議員)
町長の施政方針において、目標設定の中身について聞く。

①率先垂範して課長会議を開くのは良いが、町の課題、問題について課で協議して認識を共有しているのか。

答弁 (町長)
②公聴会として実現に向けて検討する。

答弁 (企画課長)

③第3次長期総合計画に掲げた施策と事業で、介護予防事業、地域包括支援センター事業、地域医療対策事業、生活航路地域交通対策事業、子育て支援事業、移住定住促進事業、生活基盤事業、インフラ維持・管理事業などである。これらは各年度の予算に反映しながら段階的に実施している。

答弁 (総務課長)

①課長会議の内容は、

答弁 (総務課長)

④本町では、これまでに複数の民間企業と連携協定を締結しており、災害時応援、本町産品の販売促進、地域活性化、まちづくり推進に関する事項などで連携を図っている。今後は、新たな包括連携協定を締結する場合は、議会に報告、説明する。

問

農山漁村振興交付金について

答

交付金の活用に向けて情報共有を図るとともに、直売所設置の可能性調査を進めていく。

質問 (信谷議員)

農山漁村振興交付金について、交付金の事業内容と

問

スマートアイランド実証実験調査について

答 試験運航の効果検証結果を踏まえ、計画づくりを行い推進していく。

質問 (信谷議員)

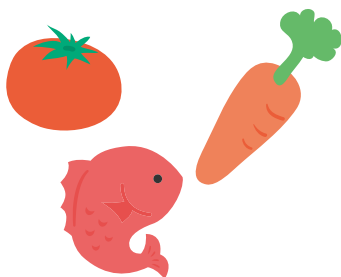
スマートアイランド実証実験調査(自立航行船)の今後は。

答弁 (企画課長)

試験運航では、調査を行い一定の技術的可能性は確認できた。今後は、効果検証の結果を踏まえ、次年度以降も計画づくりを推進していく。

答弁 (地域経営課長)

②令和8年度予算で直売所設置の可能性について調査を行い、生産者の意向や立地条件、運営方法などを検討し、産業振興と所得向上と地域の活性化につながる取り組みを進めていく。





もり 森 ルイ 議員

問
ふるさと納税の現状は

答
寄付額、寄付件数ともに増加傾向

ふるさと納税については、ふるさとと納税について伺う。

①現状の課題
②ガバメントクラウドファンディング（GCF）の導入検討
答弁（総務課長）
①町HPや納税サイトの掲載情報が古いものがあるので更新する。
②GCFは特定の事業や政策課題を明確に示した上でその取り組みに共感して頂く方から寄付を募る仕組みで、寄付者の意思をより直接的に町の施策に反映

できる。近年では県内外の自治体において教育、福祉、環境、産業振興など幅広い分野で活用事例が増えており、返礼品に依存しない、共感や応援を重視した新たな寄付の形と注目されている。

①総合戦略の概要
②政策2「子育て世代に選ばれるまちづくり」の関連事業
③教育移住に向けた小学校の短期留学の検討
答弁（企画課長）
①人口減少対策や地方創生に関する取り組みを位置づける5年間の行動計画で、より具体的な施策や事業を位置づけて推進するもの。
本町では人口減少が進む中、町民が安心して暮らし続けられる地域社会を維持するため、転入促進や転出抑制などに取り組む。
答弁（生涯学習課長）
②「親子ワークショップ事業」として、関係人口の創出、また広報を通して将来的に移住を含めて検討して頂けるよう、年長・小学生、その保護者を対象にして町内の自然に触れ合う体験も中心とした参加型の委託事業を行っている。
お子様については実際に木江小学校に体験入学し、

第3次総合戦略について伺う。

総合型スポーツクラブに参加するなど、地元小学生と交流し、保護者はネット環境がある場所です仕事をしながら、時間帯によってはお子様と一緒に島内イベントに参加して頂いている。
令和7年度は12月と2月の2回実施し、延べ6組、保護者8名・子供10名が参加。
答弁（健康福祉課長）
②令和7年度は医療体制の段階的充実として「小児オンライン診療」の試行を実施。保育環境の整備では、旧ルンビニ幼稚園（シルバー人材センター2階）を利用したサークル活動を継続。
令和8年度は産後ケアサービス事業で新たに通所型を実施、また親と子供が遊べる場所「アスレチック」では屋外遊具施設として大崎の親水公園に遊具の設置を予定。また4月に子ども家庭センターを木江支所に設置し、2階旧図書室を相談室や親のふれあいの場として活用し、屋内遊具等も整備したいと考えてい

る。今後も町内の子育て世代の声を聞きながら子育て支援の実施を推進していく。
答弁（教育長）
③情報収集に努める。
答弁（町長）
③教育委員会と連携を取りながら検討する。

問
行政情報の公開は

答
定例記者会見は実施せず、広報紙、町HP、公式LINEなどで情報発信する

町公式LINEの登録者数、今後追加予定の機能について伺う。
答弁（企画課長）
令和8年3月6日よりLINE公式アカウントの運用を開始し、登録者数は3月17日時点で約480名。今後は各種申請など利用件数が見込まれ、住民の利便性と、職員の業務軽減にもつながる手続きを優先してLINEに追加していく。

問
第3次総合戦略の目標は

答
2050年に人口45000人の確保

総務福祉文教常任委員会報告

委員長：進藤雅通 副委員長：森 ルイ
委員：末光 透 渡辺年範 関田大祐

令和8年3月議会までの
委員会を報告します。

各課から議案となる条例
案、補正予算案、事業や懸
案事項の説明を受け質疑を
行いました。

○学校教育課

Q・要保護・準要保護児童
の生徒援助費は前年度実績
で予算を組んでいるのか。

A・前年度の人数は組ん
で、それプラス新入学分に
ついては見込みで人数分を
足して予算組みをしていま
す。

Q・「大崎上島町乳児等通
園支援事業の施設及び運営
に関する基準を定める条
例」と「大崎上島町特定乳
児等通園支援事業の運営に
関する基準を定める条例」
とは。

A・本町では申請出来るの
はひかり園のみ。施設の認
可を受けるために、「大崎
上島町乳児等通園支援事業
の運営に関する基準を定め
る条例」に基づく申請をし、
許可を受けたら、次に「大

崎上島町特定乳児等通園支
援事業の運営に関する基準
を定める条例」に基づいた
申請をした後、許可を受け
ます。利用時間は原則10時
間が上限となります。

○生涯学習課

Q・海星高校下宿生の生活
支援について。

A・海星高校に一任してい
ます。寮に入れず下宿をし
ている学生への食事支援で、
ボランティアが立ち上がり
夕食を提供しています。

Q・「近現代における大崎
上島の歩み」の配布先は。
A・広島県内の図書館につ
きましては寄贈します。

○健康福祉課

Q・母子自立支援員設置事
業とあるが、父子に対する
助成は。

A・正式名称が「母子父子
自立支援」となり父子も対
象となります。

Q・介護助手（ケアパート
ナー）とはどういったもの

か。
A・介護福祉士の資格は必
要なく、身体介護は含まな
い軽作業をやって頂くこと
になります。

Q・オンライン診療につい
て

A・小児オンライン診療の
試行を実施し、スマホでQ
Rコードを読み込むと繋が
りますが、薬がもらえない
ので通院する方もいました。
しかしながら病院が休みの
時でも夜間でも先生に診て
もらえ、救急車を呼ぶべき
状態かも判断してもらえる
という利用方法もあります。

○会計課

Q・金融機関ごとの資産の
分散もわかるが、利率が良
いところにしては。
A・満期を1年としている
ので、これから満期を迎え
る時に利率も含めて金融機
関と協議します。

○総務課

Q・AEDをリースにした
のはなぜか。

A・リースの方が維持費が
安いのでリースにしました。
Q・防災備蓄倉庫は何処に
作るのか。
A・西野小学校跡地です。

○税務課

Q・国民健康保険税の現状
は
A・医療費が減ったからだ
と思いますが、今は広島県
全体でしているため、影響
はあまりないです。

○住民課

Q・コンビニ交付について
A・経常経費の部分で見積
りを再度とると、当初1千
5百万円ぐらいと見込んで
いたものが、2千万円を超
え、その後令和9年度10年
度で1千万円ずつかかって
くる見積りになりました。
今年度は控えて関係課と改
めて精査しながら検討して
いくことになりました。

産業建設常任委員会報告

委員長：赤松良雄 副委員長：下末典和
委員：水橋直行 信谷俊樹 浜田幸造

令和8年3月議会までの
委員会を報告します。

各課から議案となる条例
案、補正予算案、事業や懸
案事項の説明を受け質疑を
行いました。

○建設課

Q・柿の浦住宅入居者に説
明は

A・設計図を基に入居者に
説明しました。家賃は公営
住宅法で緩和措置がある。
ほとんどの方は承諾してい
ます。

Q・特例空き家対策は

A・町の空き家協議会で危
険家屋を審議、東野地区は
地権者と協議中です。木江
地区は強制執行します。解
体費は546万円入札し、
かかった費用は町が家主に
請求しますが、回収は困難
かもしれません。今後は要
望があれば協議会で決定
します。

Q・上組トンネルの今後は

A・トンネルは通行止めに

します。

○環境衛生課

Q・火葬場の指定管理は

A・大崎上島町火葬場大峰
苑の指定管理の募集を行い、
応募者は1社で選定委員会
で(有)スカイトラベルに決定
しました。期間は令和8年
度から令和13年度まで年間
1896万円です。

Q・東広島市ではゴミ袋な
しで草等を搬入している。

大崎上島町でもできないか
検討してほしい。

A・協議します。

○地域経営課

Q・中山間地域等直接支払
交付金の3団体は

A・大西・向山・大串の3
地区で実施しています。

Q・有害鳥獣駆除(川鵜)

の広域対応は出来ないのか。
A・県と協議して検討しま
す。

Q・修学旅行の受け入れ時
期について

A・冬季の受け入れは旅費
が安い時期だからです。

Q・野賀地区の地籍閲覧は
A・法定検査が完了し、来
年度閲覧です。

Q・文化祭と産業祭を分離
の検討は

A・一緒にしたら人が増え
る為統合しました。分離は
考えていません。

Q・野賀海水浴場工事完了
予定は

A・令和8年7月末完了予
定です。

Q・大崎アンテナショップ
の今後は

A・修繕に1,000万円
程必要で売却を検討中です。

○企画課

Q・町公式LINEについ
て費用と防災無線の定時以
外も送信してほしい。

A・町公式LINEを3月

から実施。定時放送が文字
化され、それ以外は経費が
掛かる。今後申請や予約も
予定。令和10年の3月まで
500万円です。今後、防
災等で避難時の情報や連絡
等にも使えます。

Q・デマンドバスの予約方
法について

A・予約し利用しないのに
何回もキャンセルしない場
合は、バス会社が注意喚起
します。

ダブルで予約して、片方
を消し忘れる人が多いです。

大崎上島町 公式LINE



産業建設常任委員会陳情

産業建設常任委員会は2月12日、13日に広島県庁に県議会と土木建設局に県道維持等を要望し、農林水産局から事業説明を受けました。

広島市豪雨災害伝承館と広島中央環境衛生組合のエコパーク（ゴミとし尿処理場）を視察しました。

中本県会議長と藤田土木建設局長に陳情

県議会は森川家忠県議の案内で中本隆志県議会議長に大崎上島町内の道路維持と改良の要請をしました。中本議長は「県の予算は厳しい状況であるが、皆さんの要望を重く受け止め県に伝えます」と話されました。藤田士郎広島県土木建設局長に対し

- ① 県道のラインの整備、木の伐採、溝の清掃
- ② 木江地区で大潮時の道路浸水
- ③ 県道路の舗装
- ④ 工事中の矢弓地区の早期開通



⑤ 歩道の縁石の高さ改善を要望しました。

「県内でも多くの要望が出ています。厳しい財政ですが検討していきます」との回答がありました。

農林水産局から令和8年度の県の主な事業について、おいしい広島の受け皿やブランド化、スマート農業の普及などの説明がありました。

議員から新規就農者対策は進んでいるが既存のミカン農家に対する支援、耕作放棄地や新たに作付け土地の補助、小規模農地の補助、

藻場の整備などの要望がありました。既存の農家や漁業など県と協議してできるメニューがあるので、申請があれば町と協議して支援していきたいとの回答がありました。



広島市土砂災害伝承館視察

広島市土砂災害伝承館を2月13日に視察しました。

当時の映像を見たのち、被災した館長から平成26年8月、1時間最大121mmの豪雨で77人の死者、47棟の被害の説明があり、その後、被災の復興まちづくりのため伝承館を設置、5万人が見学しています。

防災・減災の道路やダム建設、被災者支援、住民が主体的に取り組み防災活動のより災害に強い街づくりに変えていきました。多くの人ボランティアで土砂など搬出してもらったなど話を聞きました。



東広島市エコパーク視察

広島中央環境衛生組合のエコパークは令和3年9月から大崎上島町などのごみと東広島市、竹原市のし尿を処理しています。

ゴミストックヤードは10日分貯留でき、最大285t/日処理し、1800度高温でガス化溶解します。最終処分量ゼロにするため、飛灰は全国で処理し、国内の工場でメタルやスラブに再生、道路の地盤など利用しています。発電機を設置し最大6,500KWで売電しています。

ストックヤードには大崎上島、竹原、東広島のごみ袋の山がありました。



追跡 あれからどうなった

(令和6年12月定例議会一般質問から)

質問 大西港フェリーターミナル改修はいつ頃か。

回答 県が全体の整備計画の工程を検討中。

その後の経過

現在は、令和6年度から測量設計業務を発注し、令和7年度には、棧橋橋台付近に4本の杭打ちを施工しました。令和8年度には、残りの13本程度の杭打ち工事を施工する予定です。その後、待合所の建設、棧橋の付替え、駐車場、駐輪場の整備等を行い、令和13年度大西港フェリーターミナル改修事業の完成予定となっております。



令和8年2月17日、令和7年度自治功労者等表彰式並びに広島県町議会議員研修会へ行ってきました。

大崎上島町議会から信谷議員が町議会議長を7年間勤め長年にわたり地域の振興発展に貢献されたとして表彰されました。



広島県町議会議員研修会では、テーマ「人口減少、縮小社会を見据えたまちづくり」の研修を行いました。



編集後記



大崎上島町は、その自然豊かな環境や歴史的な魅力に恵まれ、多くの訪れる人々を魅了しています。一方では、少子高齢化や地域経済の活性化といった課題も抱えています。私たち議員は、地域の声に耳を傾けながら持続可能な発展に向けた取り組みや、未来を担う若者たちの支援についても積極的に情報発信をしていきたいと考えています。大崎上島町の持つ可能性と魅力を皆様と共有し、地域との連携を深めながら、より良い未来を築いていくために今後も努めてまいります。

(進藤 雅通)

大崎上島町議会

TEL(0846) 65-3130(直通)

FAX(0846) 65-3117

〒725-0231 広島県豊田郡大崎上島町東野6625-1

URL:<https://www.town.osakikamijima.hiroshima.jp/>

議会広報委員

委員長 森 ルイ
副委員長 末光 透
委員 赤松良雄

水橋直行
進藤雅通
下末典和